

何のために広島に来るのか！？



オバマ・安倍広島訪問反対デモへ！

5月27日、伊勢志摩サミット終了後にオバマ米大統領と安倍首相が広島に訪問することが決まり、「核廃絶に向けた大きな一歩」と大々的に報道されています。

しかしながら、彼らの広島訪問の目的は核をなくすことなどでは一切なく、むしろ朝鮮戦争の切迫において、日米同盟強化を演出し、それに敵対すれば核を使ってもいいのだと「免罪符」を得るためでしかありません。核戦争をヒロシマに、被爆者はじめ私たちに承認せよ、ということです。

こんなことを絶対に認めるわけにはいかない！ 26・27日、オバマ・安倍の広島訪問反対のデモへ大結集しよう！

●彼らこそが戦争・核の推進者だ！

オバマ大統領がやっていることは何か。それは中東での戦争であり、沖縄の新基地建設であり、核戦争も辞さない朝鮮戦争準備です。

この3～4月、北朝鮮のミサイル発射・核実験に対して、過去最大規模の米韓合同軍事演習が行われました。韓国軍からは30万人が動員され、米軍は核搭載可能な戦略爆撃機を飛ばしました。オバマ大統領は、核戦争にいつ至ってもおかしくない段階にまで軍事的緊張を高めている張本人だということです。

それに加えてオバマ大統領は核兵器の近代化のために今後100兆円もかけるとしています。彼のどこに核の惨禍を贖い、核廃絶を訴える資格があるのでしょうか？



安倍首相も同じです。安倍首相は4月1日「憲法で核の保有も使用も禁止されていない」と閣議決定しました。朝鮮戦争の切迫に対し、日本も核武装しようとしているということです。

この伊勢志摩サミットに先だつG7広島外相会合も「核廃絶に向けた一歩」として広島宣言が採択されましたが、その内容は中国・北朝鮮の核をけん制するものではなく、どこまでもG7各国の利害・核支配を貫こうとするものでした。

彼らこそが戦争・核の推進者です！ 昨年の8月6日の広島平和記念式典では、安保法制を進める安倍を前にして式典参加者から「戦争屋は帰れ！」と怒りの声が無数に上がりました。安保法が施行され、朝鮮戦争が核戦争として始まろうとしている今こそ、この怒りを広範に解き放ち、オバマ・安倍まとめて打倒しよう！

(委員長・森田寛隆)

E-mail: hiro dai86@yahoo.co.jp

Blog: <http://hiro dai86.blog.shinobi.jp/>

広島大学学生自治会

●戦争・核開発を担わされるのは私たちが

実際に戦争を担わされるのは誰か。軍事研究・核開発を担わされるのは誰か。オバマや安倍ではなく、私たち学生です。

経済的徴兵制ということが言われています。アメリカでは高校に米兵が軍服のままリクルートに来て、大学に行きたければ軍隊に來い、と勧誘する。日本でも「奨学金の返済延滞者は防衛省のインターンシップをやらせよう」と奨学金を貸し付けている学生支援機構の委員が発言するなど現実味を増しています。貧困に付け込んで軍隊に引き込むやり方。

軍事研究についても同じく大学の予算削減と一体で推進されています。大学の予算は年々削られ、競争的資金化されている一方で、軍事研究の予算は昨年防衛省から3億円が計上され、今年度は6億円。そして今後はなんと100億円を計上しようとしています。これまで軍事研究反対の立場を掲げていた東京大学で米軍マネーで軍事研究が行われていたことも大きな問題になりました。アメリカではさらに激しく軍事マネーが大学に流入し、大々的な軍事研究が行われています。



カネの力で私たちに軍事研究に加担させる。戦争に加担させていく。大学の自治や学問の自由は有名無実化しつつあります。オバマや安倍がやっていることはこうして私たちを実際的に戦争に追い込んでいくことです。授業・学生生活の閉塞化・多忙化はその日常的在り方です。

●だからこそ、私たちに戦争を阻止する力がある！

軍事研究も戦争も、私たちが担わされるものだからこそ、私たちに阻止する力があります！ 私たち学生こそ未来を決める存在です。私たちがいかなる未来を選択するか、このことこそが次の社会の在り方を決定する。私たちを戦争に加担させようとする在り方を拒否し対決しま

しょう！

4月1日、アメリカ・シカゴではシカゴ教職員組合が市内の全学校でストライキに立ちました。「財政の破綻」を理由に教育予算が凍結され、これまで多くの公立学校が閉鎖されてきたことに対する怒りのストライキです。



これに多くの労働者・学生が共感。町ぐるみの大ストライキに。予算がストップされていた大学の教職員組合もストライキに突入。「違法スト」と悪罵を投げつけられながらも、予算がなくなれば国の言うことを聞くしかない、戦争に加担するしかない、こんな在り方を実際に跳ね返して闘っています！

また、朝鮮戦争を前にした韓国でも民主労総という労働組合が戦争絶対反対・パククネ政権打倒を真っ向から掲げてストライキで闘い続けています。

5・15沖縄闘争にはこの民主労総の仲間が駆けつけ、オバマ広島訪問の欺瞞性を全面的に明らかにして、ともに闘おうと訴えました。

戦争を担わされるのはどの国でも労働者・学生であり、日々社会を動かし、未来を担っていくのも労働者・学生です。だからこそ、国境を越えて闘いはひとつです。私たち一人ひとりの戦争絶対反対の思いは、世界中の99%の学生・労働者の思いと同じです。国際連帯で戦争を阻止しましょう！

●ともにオバマ広島訪問反対デモへ！

広島大学は「平和を希求する精神」を掲げていますが、実際には日本最大の軍事メーカーである三菱重工を経営協議会に入れています。学生は戦争に加担させられるために学問しているわけじゃない！ 私たち学生自治会は三菱重工の大学支配に対して反戦ストを訴え正面から闘ってきました。この地平の上で、戦争に至るような授業の日常的な支配を打ち破って、26・27日オバマ・安倍の広島訪問絶対反対デモをともに打ち抜きましょう！

オバマ来訪も餌食にして、世界に届くような広大生の行動で社会全体を変えよう！

オバマ訪問反対デモへ！ 当面のスケジュール ※ぜひともhiro dai86@yahoo.co.jpまで連絡ください！

◆5・26、27オバマ広島訪問反対行動

5月26日(木) 3コマ終了後、広島大学出発 | 17時～街頭宣伝 | 18時30分原爆ドーム前集会 | 19時デモ出発
5月27日(金) 1コマ終了後、広島大学出発 | 12時30分原爆ドーム前集会 | 13時デモ出発

◆沖縄現地行動報告会

5月23日(月) 18時～ 学生プラザ1Fフリースペースにて
この間訴えてきた5・15沖縄現地行動の報告を行います。米軍基地・戦跡をめぐる感想、県民大会やデモの様子、沖縄大学では4人に1人の学生が経済的事由で辞めざるを得ない環境にありながら誇り高く立ち上がっていることなど、沖縄の闘いを共有し、オバマ訪問反対デモはじめ、広大学生自治会としての時代認識・方針提起を行います。

